

企業理念



Mission Statement

より良い未来を創造する ITのプロフェッショナル集団

行動指針

共存・共栄の精神のもと、
誠実、かつ真摯に顧客貢献・社会貢献に取り組む

常に謙虚に学ぶ姿勢を忘れず、
新しい技術や新しいビジネスに挑戦し続ける

オープンな議論を交わし、
全員がチームの成功と成長にコミットする

テクマトリックスが目指す
プロフェッショナルな人材像

SIMPLE & 4C

- Speed スピード
- Innovation 革新
- Management マネジメント
- Passion 情熱
- Learning 学習
- Endeavor 努力
- Commitment コミットメント
- Customer Satisfaction 顧客満足
- Confidence 信頼
- Challenge 挑戦

テクマトリックス グループ

- クロス・ヘッド株式会社
- OCH株式会社
- 株式会社カサレアル
- アレクシアフィンテック株式会社
- TechMatrix Asia Co., Ltd
- PSP株式会社
- 合同会社医知悟
- 株式会社A-Line

SIMPLE & 4Cの
詳細はこちら▶



TALK ABOUT

私たちが考える企業理念

「より良い未来を創造するITのプロフェッショナル集団」とは、
事業を通じて社会課題を解決する私たちの姿そのものです。
テクマトリックスのメンバーはこの企業理念をどう理解し、
業務においてどう取り組んでいるのでしょうか。

エンドユーザーの立場で
本当に使いやすい機能は
何かを考え、
日々アプリを設計しています。

CRMソリューション事業部
勤続年数：5～10年未満

ヒアリングを繰り返し、
お客様の課題の本質は
何かを考えるようにしています。

ソフトウェアエンジニアリング事業部
勤続年数：3年未満

クライアントの課題に対して、
常に解像度を高く捉える
ことを意識することで
本当に必要なソリューションを
提供しよう意識しています。

ビジネスソリューション事業部
勤続年数：3年未満

Q. Mission Statementをどう理解し、 どのように取り組んでいますか？

ITのプロフェッショナルとして、
世の中の動向を見て、
様々な課題を解決する方法を考え、
そのために有用な技術の習得に
努めています。

ネットワークセキュリティ事業部
勤続年数：15～20年未満

プロフェッショナルとしての自覚を持ち、
業務のクオリティを高めるとともに、
知識やスキルを向上させるために
学び続けています。

コーポレート本部
勤続年数：5～10年未満

提供サービスがお客様の未来・将来に関わるものであると認識し、
それをより良いものにするために
情報収集と継続的な改善を行っています。

EdTech事業部
勤続年数：3年未満

CONTENTS

Introduction 01

- 01 企業理念
- 03 CONTENTS
- 05 テクマトリックスとは
- 07 at a glance
- 09 テクマトリックスの成長の軌跡

TOP Message 11

POINT
 社長就任にあたり、新中期経営計画への想い、サステナビリティに関する取組み、経営への取組み姿勢について記載しています。



11 トップメッセージ

Value Creation 17

POINT
 より良い未来を創造するITのプロフェッショナル集団として、強みを活かしてどのように価値を創造し続けるのかを事例を用いながら記載しています。



- 17 価値創造プロセス
- 19 テクマトリックスの強みと事例
- 23 事業活動を通じた社会課題の解決

Strategy 25

POINT
 新中期経営計画「Creating Customer Value in the New Era」の実現に向け、事業戦略、財務戦略、マテリアリティへの対応について記載しています。

- 25 リスクと機会
- 27 中期経営計画
- 29 セグメント別事業戦略
- 37 財務戦略
- 39 マテリアリティ

Governance 49

POINT
 企業価値の持続的向上につながるコーポレート・ガバナンスの体制・取組みのほか、人事委員会の委員による社外取締役対談について記載しています。



- 49 社外取締役対談
- 53 マネジメントメンバー
- 55 コーポレート・ガバナンス
 - 透明性と効率性を重視した経営体制の確立
 - 役員の報酬について
 - コンプライアンスの取組み
 - 人権尊重の取組み

Data 61

- 61 社外からの評価・指数への採用
- 62 社会貢献活動
- 63 連結財務サマリー
- 64 非財務サマリー
- 65 会社概要
- 66 株式情報

編集方針

統合報告書は、株主・投資家をはじめとする、様々なステークホルダーの皆様への情報開示と対話を促進することを目的に、財務・非財務情報を総合的に報告した「統合報告書」として編集しています。

報告対象期間

2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）
 ただし、一部に上記期間外の情報を含みます。

見直しに関する注意事項

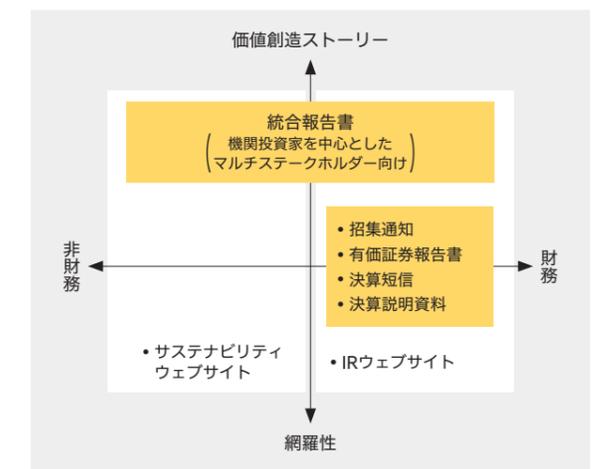
当報告書に記載している将来の業績に関する予想、計画、見直しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見直しとは大きく異なる可能性があります。

参考ガイドライン

当報告書の編集にあたり、国際統合報告評議会（IIRC）が提唱する「国際統合報告フレームワーク」や、経済産業省が提唱する「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」を参照しています。



情報開示ツールの構成



表紙について

テクマトリックスという社名の由来「テクノロジーと垂直市場のマトリックス」をイメージさせつつ、波線を用いてネットワークの結びつきや情報の流れを表現しています。



統合報告書 2024のポイント

統合報告書2024では、価値創造のロジックをより明確にし、一つのストーリーとしてまとめるために、顧客満足や強みに関する事例を記載しています。また、社長交代や新中期経営計画のスタートなど、当社にとって大きな転換期として位置付け、企業理念の浸透を図る社内調査を実施し、社員の生の声を本報告書に掲載しました。また、財務情報と非財務情報の両立を図り、いかに持続的に企業価値を向上させるかについて、戦略やマテリアリティへの対応を通じて説明しています。

注目ポイント

私たちが考える企業理念 P.2

企業価値向上を実現するための企業理念がどのように社内に浸透しているか、社員の生の声を掲載し、企業理念に立体感を持たせています。

トップメッセージ P.11-16

社長就任に際し、役割や使命、新中期経営計画のキポイントについて語っています。目標達成に向けた取組みやリーダーシップの発揮についても言及しています。

強みと事例 P.19-22

価値創造プロセスにおいて、テクマトリックスの強みがどのように活かされているか、具体例を挙げて解説しています。

新中期経営計画 P.27-38

外部環境を踏まえたリスクと機会の抽出、新中期経営計画における具体的な戦略、課題と施策について解説しています。また、財務戦略においては、資本コストやキャッシュフローケーションに対する考え方についても言及しています。

社外取締役対談 P.49-52

人事委員会の委員である社外取締役が、後継者選任プロセス（サクセッションプラン）のほか、自身の役割や取締役会の実効性、テクマトリックスの中長期的な課題や期待について語っています。

統合報告書 2023のポイント

初版となる統合報告書2023では、国際的なガイドラインやフレームワークに基づいて財務情報と非財務情報を整理し、統合思考による価値創造の型を形成しました。経営陣や社外取締役の意見を集約し、当社グループならではの価値増幅のストーリーを構築し、表現しました。

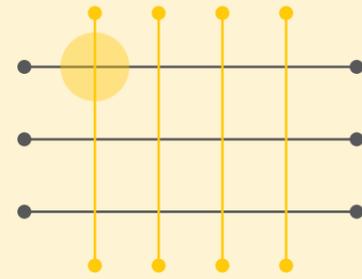


テクマトリックスとは

テクマトリックスという社名の由来

テクノロジーと垂直市場のMatrix

テクマトリックスという社名の由来であります「テクノロジーと垂直市場のマトリックス」という考え方。これは、一定の業種（医療、コールセンター、教育、金融、自動車など）に特化した市場（垂直市場：Vertical Market）を縦軸にし、テクノロジーを横軸とした際に表現されるマトリックス図であり、そこには交わるいくつもの点が存在します。当社はこれらの交わりを意識し、常に新しい技術や新しいビジネスに挑戦し続けます。



垂直市場（縦軸）

- ・医療
- ・コールセンター
- ・教育
- ・金融
- ・自動車
- ・

テクノロジー（横軸）

- ・アプリケーションインフラ
ビジネス・プロセスを効率的・効果的に機能させるためのソフトウェア
提供範囲 業務支援ソフト・テストツール・BI・AI
- ・ミドルウェア
アプリケーションの開発・実行に共通して使用されるソフトウェア
提供範囲 データベース・API・オペレーティングシステム・仮想ネットワーク
- ・インフラストラクチャー
ソフトウェアを稼働させるためのハードウェアや設備
提供範囲 サーバー・ストレージ・ネットワーク機器・セキュリティ対策

事業部門別売上収益と構成比

6つのソリューション テクマトリックスは、単に業務用アプリケーションやテクノロジーを提供するだけでなく、お客様の抱える課題を伺い、お客様にベストマッチする解決法を見つけ、新しい技術を提供し、運用・保守していきます。

医療システム事業

101億円 [18.9%]

- ・医用画像管理システム (PACS) の提供
- ・PHRサービスの提供
- ・AI医療診断支援サービスの提供
- ・遠隔読影のプラットフォームを提供

アプリケーション・サービス事業

82億円 [15.4%]

- ・CRM
- ・コンタクトセンター向けの問合せ管理システムの提供
- ・FAQナレッジシステムの提供

ソフトウェア品質保証

- ・IoT時代の組み込みソフトウェア品質保証のためのテストツールの販売

ビジネスソリューション

- ・インターネットサービス、金融分野でのソリューション提供

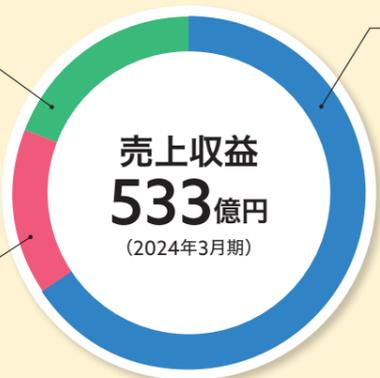
情報基盤事業

350億円 [65.7%]

- ・ネットワーク・セキュリティ
- ・最先端のネットワーク/サイバーセキュリティ製品の提供
- ・安全な情報基盤を構築
- ・24時間365日の運用監視サービスの提供

EdTech (教育)

- ・スクール・コミュニケーション・プラットフォーム「ツムギノ」の提供



連結グループ会社

ITシステム、医療、金融などの分野における高い専門性と課題解決力、そしてグループ各社の連携と相乗効果でグループ全体としての付加価値向上に努めています。

グループ会社の詳細はこちら▶



グループ会社	出資比率	会社概要
クロス・ヘッド株式会社	100.0%	ITシステム基盤のコンサルティング・設計・構築、海外IT製品の輸入・販売・サポート、ネットワークエンジニア派遣、運用・監視業務コンサルティング・一括業務請負、マルチベンダー対応の全国オンサイト保守、IT技術者教育・育成等
OCH株式会社	クロス・ヘッドの100.0%子会社	沖縄県内IT人材教育・育成、ネットワーク・サーバーの構築、データセンターサービス・運用保守、SaaSサービス提供、ITエンジニアの派遣、SMB向けのプロダクト/サービスの開発・販売等
株式会社カサリアル	100.0%	オープンソースソフトウェアによるシステム開発、IT技術者の教育等
アレクシアフィンテック株式会社	100.0%	金融工学と情報技術の重なる領域でのシステム企画、設計、豊富な業務ノウハウが組み込まれたARECCIAシリーズの提供等
TechMatrix Asia Co., Ltd	TechMatrix Asia Holdingsの50.1%子会社	タイ王国を中心にASEAN地域でコンタクトセンターCRMシステム/FAQ、ナレッジシステム「FastSeries」の販売、マーケティング、技術サポート等
PSP株式会社	50.02%	医療機関で撮影されたCT、MRIなどの医療情報を安全に管理・利用できる画像管理システム「EV Insite」及びクラウドサービス「NOBORI」、PHR (Personal Health Record) のサービスの提供等
合同会社医知悟	PSPの95.0%子会社	遠隔画像診断を支援するIT情報インフラの提供、遠隔画像診断に対する業務支援情報サービスの提供等
株式会社A-Line	PSPの84.1%子会社	医用画像データから取得できる医療被ばくの情報を検査単位・個人単位でクラウドに記録し、他の医療機関との線量情報を比較・参照することで、検査の最適化を促す、クラウド型線量管理システム「MINCADI」の提供等

テクマトリックスが提供する価値

**持続可能な社会の創造に向けた
テクマトリックス・ソリューション**
社会の隅々にまでデジタルがビルトインされ、デジタルを活用したビジネスモデルの変革であるDX（デジタルトランスフォーメーション）が急速に進む中、産業構造も大きく変化しつつあります。テクマトリックスグループは、今後の社会・産業にとって必要不可欠な領域に向けた事業を加速し、社会課題を解決するためのサービス提供を通して、持続可能な社会の創造に貢献します。



at a glance

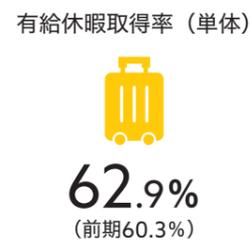
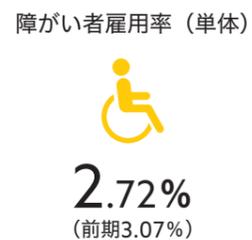
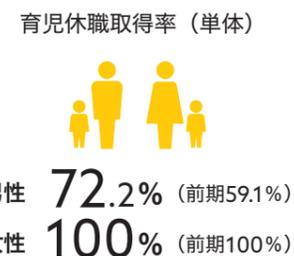
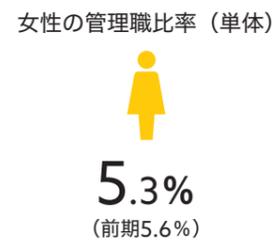
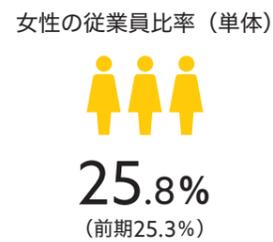
財務データ (2024年3月期)

収益力



非財務データ

ダイバーシティ (2024年3月期)



情報セキュリティ

国際規格「ISO/IEC 27001」
国内規格「JIS Q 27001」



研修と教育 (2024年3月期)



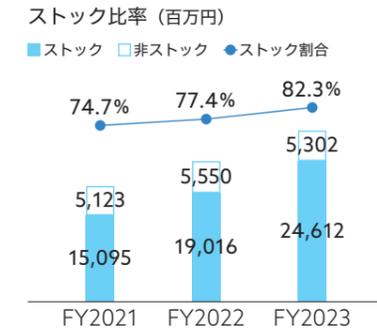
※ 人事部が主催する自己研鑽を含む社員研修等を指す

気候変動 (2024年3月期)



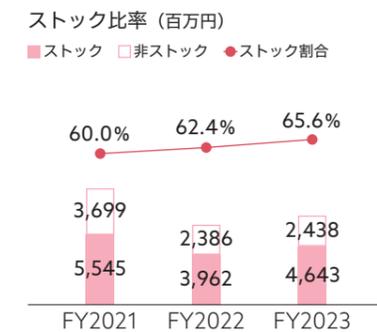
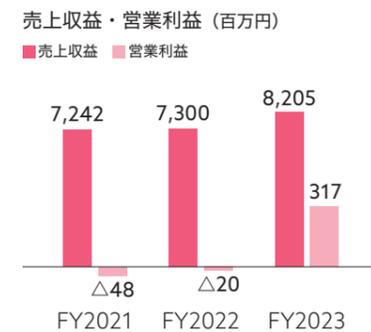
事業部門別データ

情報基盤事業



デジタル化社会を支える社会インフラとして安心・安全を確保するセキュアな情報基盤・サイバーセキュリティ製品・サービスを提供

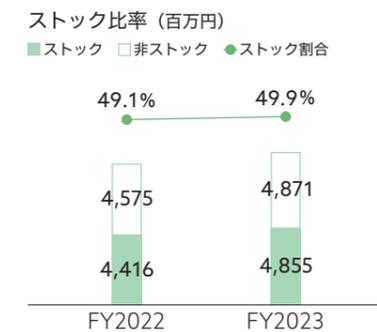
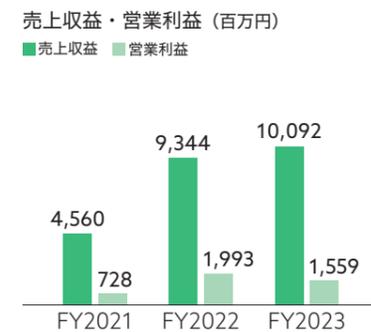
アプリケーション・サービス事業



誰にでも使いやすいUX (ユーザーエクスペリエンス) を通してクラウド型業務アプリケーションや内製化を推進するための各種開発ツールを提供

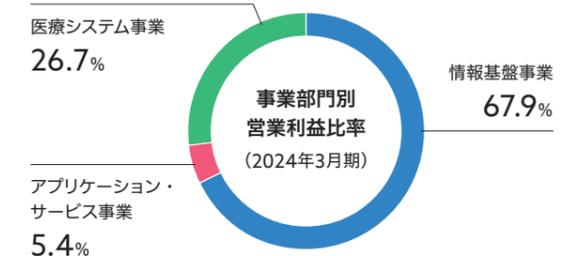
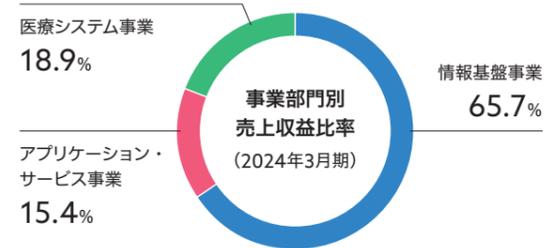
※アプリケーション・サービス事業のFY2021は医療分野の数値を含む。FY2022より医療システム事業はアプリケーション・サービス事業より分離独立。

医療システム事業

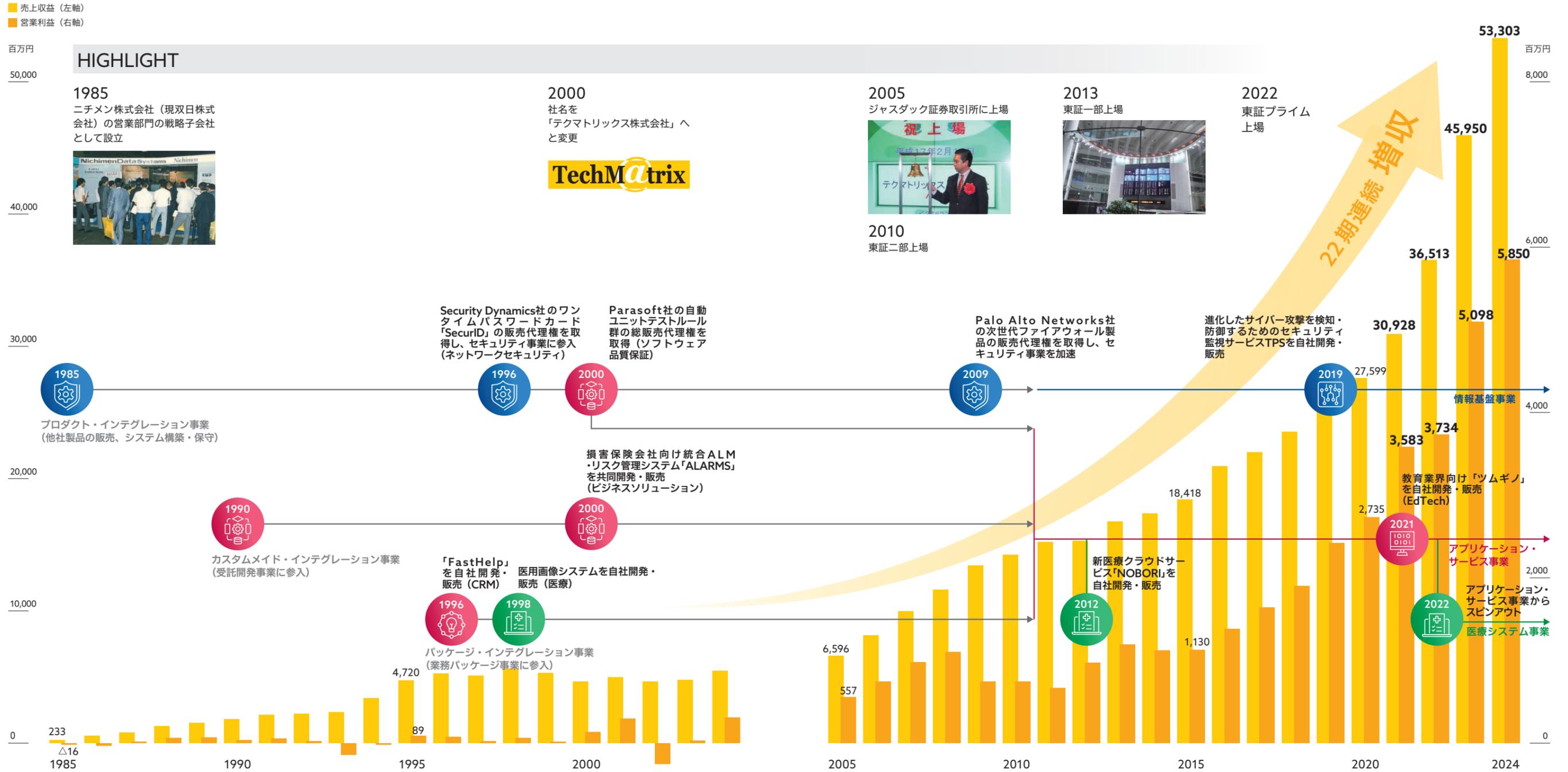


生活者一人ひとりの一生を支える医療情報インフラの構築を目指しアプリケーションやサービスを提供

※FY2022から、医療システム事業はアプリケーション・サービス事業より分離独立



テクマトリックスの成長の軌跡



情報技術の変遷 ▶▶▶

PC、クライアントサーバ型コンピューティング

インターネット、WEB

クラウド（所有から利用）

AI、DX

祖業

シリコンバレーなどのハイテク集積地から最先端の技術や製品を見つけ出し輸入内販

- 1990年 ● 受託開発事業に本格参入
- 1994年 ● ソフトウェアエンジニアリング事業に参入

- 1996年 ● 業務パッケージ事業に参入
- コンタクトセンターCRM「Fast Series」自社開発し、販売

- 1998年 ● DICOM対応医療画像サーバ「Secured DICOM Server（現 SDS Image Server）」を自社開発し販売

- 2007年 ● 合同会社医知悟を設立
- 2008年 ● クロス・ヘッド株式会社を連結子会社化
- クラウド型コンタクトセンターCRM「Fast Cloud」サービス開始

- 2009年 ● 株式会社カサレアルを完全子会社化
- 2014年 ● クロス・ヘッド株式会社、沖縄クロス・ヘッド株式会社（現OCH株式会社）を完全子会社化

- 2018年 ● 株式会社NOBORIの設立
- 2019年 ● 山崎情報設計株式会社（現アレクシアフィンテック株式会社）を連結子会社化
- 株式会社NOBORIが株式会社A-Lineと資本・業務提携

- 2022年 ● PSP株式会社の株式を取得し同社を連結子会社化
- 2023年 ● PSP株式会社を吸収合併継続会社とし、PSP株式会社と株式会社NOBORIを事業統合
- TechMatrix Asia Co., Ltd 設立
- アレクシアフィンテック株式会社を完全子会社化し、金融事業を承継